

平成23年度 調査研究発表会 1

プロジェクトによる研究

授業力を高める校内研修の進め方

～みんなで取り組み、学び合う授業研究を通して～

鹿児島県総合教育センター

2

研究の背景

- 中教審答申（H20年）
教材研究や授業研究、教師同士の相互評価といった取組は、教師の資質の不断の向上にとって極めて重要である。
- 中教審への諮問（H22年）
教員が協働して学び合える環境づくり

児童生徒の学力の現状 → ← OJTに関する研究

授業力向上を図るプロジェクトによる研究の推進

3

研究の背景

アンケート結果に関するリーフレット

先生方にとって必要な研修内容第1位は、「授業力の向上に関する研修」。

多くの先生方が、「授業力の向上のためには、授業研究を取り入れることが有効である。」と考えている。

【期間】 平成22年7月～平成23年
【対象】 県内小・中・高等学校、特別支援学校
【回答数】 1,762人

4

研究の背景

「校内研修及び授業研究に関するアンケート」結果から
(平成22年度実施)

授業研究の改善点

- 授業者だけでなく、全員が関わる学習指導案づくり
- 授業検討会での焦点化された話し合い
- 全員が意見を述べ合う活発な授業検討会
- 日常の学習指導に十分に生かされる授業研究など

5

研究主題と取組の視点

授業力を高める校内研修の進め方

～みんなで取り組み、学び合う授業研究を通して～

取組の柱

- 研究の視点や課題等を焦点化し、全員で共有していく研修の工夫
- 全員が参加し、チームで取り組むワークショップ型の研修の工夫
- 成果や課題を積み重ね、効率的で、かつ効果を実感できる研修の工夫

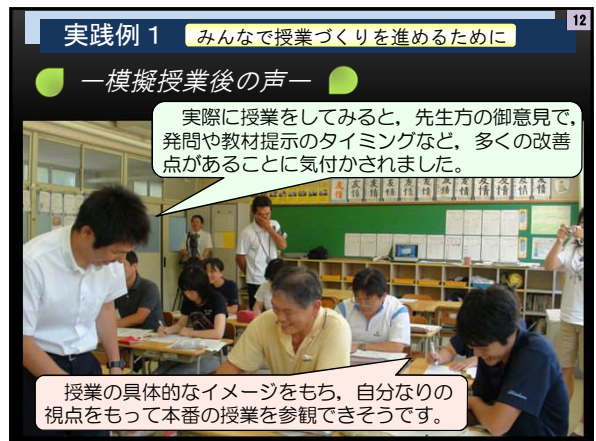
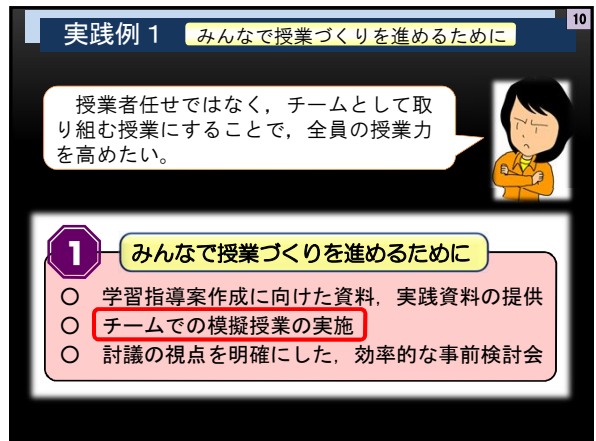
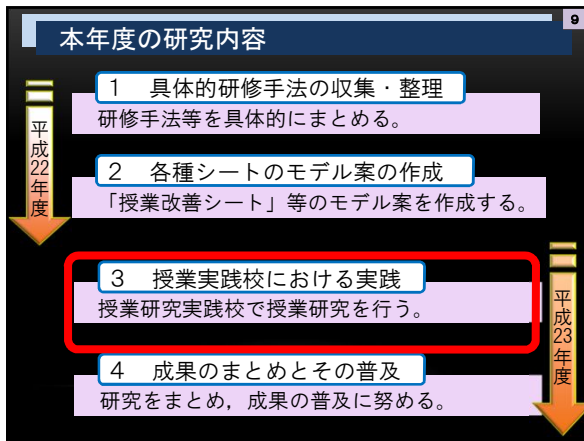
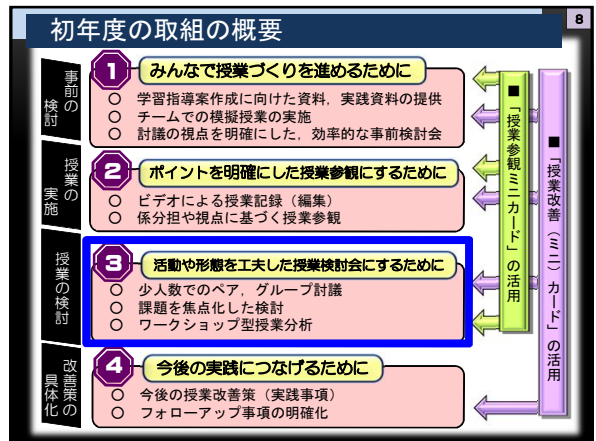
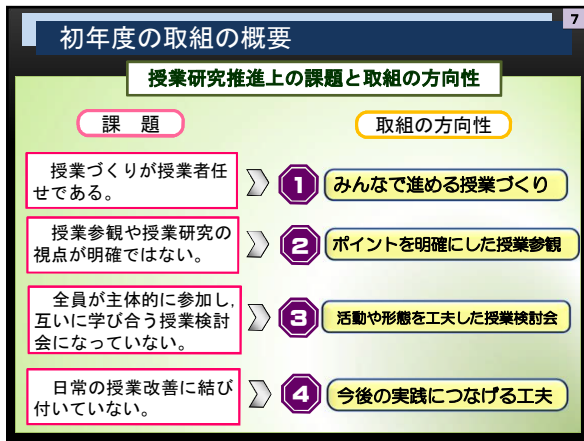
6

研究内容及び研究計画の概要

平成22年度

- 1 具体的研修手法の収集・整理
研修手法等を具体的にまとめる。
- 2 各種シートのモデル案の作成
「授業改善シート」等のモデル案を作成する。
- 3 授業実践校における実践
授業研究実践校で授業研究を行う。
- 4 成果のまとめとその普及
研究をまとめ、成果の普及に努める。

平成23年度



実践例 1 みんなで授業づくりを進めるために

— 鹿児島養護学校での模擬授業の様子 —

導入の過程だけや発問等の指導の手立だけを取り出して行うなどの部分的な実施

気づきを記入した付箋紙の略案等への貼付

何より、自分一人で作ると言うより、皆さんの意見をいただきながら、みんなでつくり上げる授業という感じがしました。

実践例 2 ポイントを明確にした授業参観にするために

事前検討や授業参観の視点が不明確で、授業検討会での話し合いが深まらない。

2 ポイントを明確にした授業参観にするために

- ビデオによる授業記録（編集）
- 係分担や視点に基づく授業参観

■「授業参観ミニカード」の活用

実践例 2 ポイントを明確にした授業参観にするために

【授業参観ミニカード例】

授業参観 ミニカード 記入者 []

| | | |
|--------------|---|-----------------|
| 10月7日(金) 2校時 | 課程・学部 | (D) 課程【高等部】(合同) |
| 教科等 | くらし・よか | 単元(題材)名 |
| 指導の形態 | | 「紙すきをしよう」 |
| 1 | (A児) 活動4で、少ない支援で自発的に作業に取り組むことができる。 | ④ 3 2 1 |
| 2 | (B児) 言葉掛けでミキサーのスイッチを自発的に押すことができる。タイマーの音や言葉掛けでスイッチを教すことができる。 | ④ 3 2 1 |

実践例 3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために

批評や指摘だけで終わるのではなく、全員が主体的に参加し、互いに高め合い、具体的な改善策まで踏み込む授業検討会にしたい。

3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために

- 少人数でのペア、グループ討議
- 課題を焦点化した検討
- ワークショップ型授業分析

実践例 3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために

ワークショップ型授業検討会の概要

- 1 グループでの検討
- 2 グループ発表
- 3 改善策等の共有化
- 4 指導助言等

実践例 3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために

鹿児島市立吉野東中学校 授業検討会の様子

実践例3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために 19

実践例3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために 20

一部の参加者だけでなく、全員の主体的な参加による積極的な検討が期待できます。

実践例3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために 21

【県立松陽高校《1年，LHR》の例】

実践例3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために 22

—研究授業実践校における事後アンケートから—

授業検討会での発言等の機会は、増えましたか。

先生方が自由に発言できる機会があるのは、とてもよいことだと思う。

| | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| ■ 増えた | ■ やや増えた | ■ やや減った | ■ 減った |
| 37% | 57% | 5% | 1% |

実践例4 今後の実践につなげるために 23

授業検討会の成果等を日常の授業改善に結び付けたい。

4 今後の実践につなげるために

- 今後の授業改善策（実践事項）
- フォローアップ事項の明確化

■ 「授業改善（ミニ）カード」の活用

実践例4 今後の実践につなげるために 24

【授業改善（ミニ）カード例】

授業改善（ミニ）カード 23年11月28日 氏名[]

【授業や授業検討会を通して学んだこと】

- ・クラスをとおした挨拶者の連絡の大切さ
- ・席が合うための場の設定。

↓

【具体的な実践事項】

- ・朝や放課後に打ち合わせをする。観察を出す。
- ・机の配置を変更する。

25

本年度の研究内容

平成22年度

- 1 具体的研修手法のまとめ
研修手法等を具体的にまとめる。
- 2 各種シートのモデル案の作成
「授業改善シート」等のモデル案を作成する。
- 3 授業実践校における実践
授業研究実践校で授業研究を行う。
- 4 成果のまとめとその普及
研究をまとめ、成果の普及に努める。

平成23年度

26

研究の成果と課題

成果

- 授業研究推進上の本県の課題を明らかにするとともに、課題解決の視点から研修手法を整理し、提示することができた。
- 各校種の授業研究実践校の実践を通して、いくつかの研修手法の有効性や課題を見いだすことができた。

27

研究の成果と課題

課題

- 研究の成果を、広く県内の学校に広げ、その普及に努める必要がある。
- 授業研究が、授業改善にどう生かされたかを把握する必要がある。
- 授業研究を日常的な取組に高めていく手立てを講じていく必要がある。

平成23年度 調査研究発表会

28

鹿児島市立吉野東中学校

鹿児島市立本名小学校

県立鹿児島養護学校

県立松陽高等学校

鹿児島県総合教育センター